平安時代

名前

問1　11世紀前半の藤原道長は、自身の娘を一条天皇や三条天皇などの后とし、その子供を次の天皇に即位させることで、複数の天皇の祖父という立場を築きました。このように、藤原氏が権力を維持・拡大するために利用した「天皇の母方の親戚」という血縁関係を何といいますか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 院近臣
2. 外戚
3. 門閥
4. 氏長者

問2　平安時代初期に最澄が比叡山に延暦寺を建立し、新しい仏教を広めた背景にある、当時の仏教の傾向や特徴について述べた文として適切なものはどれですか。（2018年 茨城県公立入試 類似）

1. 国家の保護を受けて奈良の寺院で学問に励むことを目的とし、政治との結びつきをより強めた。
2. 武士の精神的な支えとして、座禅によって悟りを開くことを重視する教えが主流となった。
3. 死後の極楽浄土を願い、念仏を唱えることで救われるという教えが一般民衆の間で急速に広まった。
4. 政治に深く関わりすぎた奈良の仏教から離れ、山の中で厳しい修行を行う山岳仏教としての性質を強めた。

問3　平安時代から鎌倉時代にかけての歴史を整理した際に、1156年の保元の乱や1232年の御成敗式目の制定よりもさらに以前、9世紀初頭（800年代前半）の出来事として適切なものはどれですか。（2023年 愛媛県公立入試 類似）

1. 藤原純友が瀬戸内海の海賊を率いて朝廷に対して反乱を起こした
2. 坂上田村麻呂が東北地方に派遣され、蝦夷の抵抗を抑えた
3. 源頼朝が征夷大将軍に任命され、鎌倉幕府を確立した
4. 白村江の戦いにおいて、日本が唐・新羅の連合軍に敗北した

問4　平安時代、藤原氏が天皇を補佐する重要な役職に就いて政治の実権を握った体制について、天皇が幼少のときには摂政、成人した後には関白としてその実務を担った政治形態の名称を選びなさい。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 公武合体政治
2. 武家政治
3. 院政
4. 摂関政治

問5　894年に菅原道真が遣唐使の停止を提案した主な理由と、その後の日本文化に与えた影響について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。（2015年 富山県公立入試 類似）

1. 唐の国力が衰えて国内が乱れたため派遣の必要性が薄れ、その後、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達した。
2. 白村江の戦いで敗北したことにより唐との関係が悪化したためで、これによって仏教文化の導入が完全に途絶えた。
3. 最澄や空海が伝えた新しい仏教が国内で十分に普及したためで、これにより中国との貿易が完全に禁止された。
4. 小野妹子が隋に対して対等な外交を求めた伝統を引き継ぎ、唐の支配下に入ることを拒んだため、武家文化が成立した。

問6　平安時代を代表するある建築物について述べた説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。その建物は、屋根の上に一対の鳥の飾りが据えられ、内部には彫刻家である定朝によって作られた阿弥陀如来坐像が納められています。（2022年 徳島県公立入試 類似）

1. 奥州藤原氏によって平泉に建てられた中尊寺金色堂
2. 藤原頼通によって宇治に建てられた平等院鳳凰堂
3. 重源によって鎌倉時代に再建された東大寺南大門
4. 聖徳太子によって奈良に建立された法隆寺五重塔

問7　平安時代初期に最澄や空海によってもたらされた新しい仏教は、それまでの奈良時代の仏教と異なり、政治の場から離れて山の中で厳しい修行を行うことを重視しました。最澄が伝えた教えとその活動に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）

1. 高野山に金剛峯寺を建立して真言宗を広め、加持祈祷などの密教の儀式を体系化した。
2. 朝廷から布教を禁じられながらも、溜池の造成や橋の架け替えなどの社会事業を通じて民衆に教えを説いた。
3. 唐から日本へ正しい戒律を伝えるために、何度も遭難を繰り返しながら来日し、唐招提寺を建立した。
4. 比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広め、国家の平安を祈るとともに、多くの優れた僧を育成した。

問8　藤原道長の娘たちは一条天皇や三条天皇といった歴代の天皇に嫁ぎ、その間に生まれた子供たちが後の天皇として即位しました。このように、藤原氏が有力な貴族として実権を握り続けるために最も重視した、天皇との血縁関係を指す言葉はどれですか。（2024年 新潟県公立入試 類似）

1. 寄進
2. 外戚
3. 幕臣
4. 執権

問9　東北地方の歴史について述べた次の文のうち、当時の状況を正しく説明しているものはどれですか。かつて朝廷軍を打ち破ったこともある蝦夷のリーダーと、その後に派遣された政府側の人物の関係に注目して選びなさい。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

1. 蝦夷の指導者であった平将門は、朝廷から派遣された坂上田村麻呂に敗北した。
2. 蝦夷の指導者であったアテルイは、朝廷から派遣された坂上田村麻呂に降伏した。
3. 蝦夷の指導者であった足利尊氏は、朝廷から派遣されたアテルイによって捕らえられた。
4. 蝦夷の指導者であったアテルイは、朝廷から派遣された源頼朝を北九州で迎え撃った。

問10　平安時代に藤原氏が権力を確立した「摂関政治」の仕組みについて、摂政という官職が果たした役割や背景を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2025年 高知県公立入試 類似）

1. 天皇が幼少である期間に、天皇に代わって国政全般の裁定を下し、実質的な統治権を行使した。
2. 地方の武士団を統制するために、天皇から軍事指揮の全権を委託された。
3. 成人した天皇の最高顧問として、天皇の決定に対して最終的な承認を与える権限を持った。
4. 仏教勢力の政治介入を防ぐため、宗教儀礼と政務を切り離して天皇を保護した。

問11　歴史上の人物の事績をまとめた資料において、弟子の円仁に関連する項目の中で「比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めた師」として紹介される僧侶の名前と、その人物が開いた宗派の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2024年 山形県公立入試 類似）

1. 空海 — 天台宗
2. 最澄 — 真言宗
3. 最澄 — 天台宗
4. 空海 — 真言宗

問12　平安時代、藤原氏は自分の娘を天皇のきさきとし、生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の親戚（外祖父）として政治の実権を握りました。このような、天皇が幼いときには「摂政」、成人した後には「関白」という職に就いて行われた政治体制を何といいますか。（2026年 島根県公立入試 類似）

1. 摂関政治
2. 律令政治
3. 院政
4. 武家政治

問13　平安時代末期、平清盛が現在の神戸市にある大輪田泊を大規模に修築し、瀬戸内海の航路を整備した目的として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）

1. 東北地方を本拠地とする奥州藤原氏との戦いに備え、軍船を停泊させるため
2. キリスト教の宣教師を歓迎し、ヨーロッパの先進的な技術を取り入れるため
3. 中国の宋との貿易を盛んにし、その経済力を背景に政治の実権を握るため
4. モンゴル帝国（元）による襲来に備え、西日本の海岸線の防衛を強化するため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 外戚	藤原氏は、自分の娘が産んだ皇子を天皇に立てることで、天皇の母方の祖父として強い発言権を持ちました。この「母方の親戚」という関係を外戚（がいせき）と呼びます。道長はこの外戚関係を背景に、摂政などの要職を独占し、藤原氏の全盛期を築き上げました。
問2	答え 4 政治に深く関わりすぎた奈良の仏教から離れ、山の中で厳しい修行を行う山岳仏教としての性質を強めた。	奈良時代の仏教は政治と密接に結びつき、大きな影響力を持っていました。平安時代になると、桓武天皇による平安京遷都とともに、政治との関わりを絶ち、山の中で厳しい修行に専念する最澄の天台宗や空海の真言宗が、新しい時代の仏教として受け入れられました。
問3	答え 2 坂上田村麻呂が東北地方に派遣され、蝦夷の抵抗を抑えた	坂上田村麻呂の活動は平安時代初期の800年代初頭（9世紀初頭）に該当します。これは武士の勢力争いが本格化する保元の乱（12世紀中頃）や、鎌倉幕府の成立よりも前の出来事です。藤原純友の乱は10世紀、白村江の戦いはさらに古い7世紀の出来事であるため、時系列として条件に合致するのは坂上田村麻呂に関する記述です。
問4	答え 4 摂関政治	藤原氏が「摂政」と「関白」の役職を独占して行った政治の仕組みを指します。天皇が幼いときや女性である場合に代わって政務を行うのが摂政、天皇が成人した後にその相談役として政務を助けるのが関白であり、これらを合わせて摂関家と呼ばれる家系が確立されました。院政は天皇が譲位した後の上皇が行う政治、武家政治は鎌倉幕府以降の武士による政治を指すため、これらとは区別する必要があります。
問5	答え 1 唐の国力が衰えて国内が乱れたため派遣の必要性が薄れ、その後、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達した。	9世紀後半の唐は、黄巣の乱などが起こり国力が衰退していました。菅原道真は、命をかけて海を渡る危険に見合うだけの成果が得られなくなったと判断し、遣唐使の中止を建議しました。その結果、中国の影響を消化した上で、日本独自の貴族文化である国風文化（かな文字、寝殿造、十二単など）が大きく発展することとなりました。
問6	答え 2 藤原頼通によって宇治に建てられた平等院鳳凰堂	平安時代の中期、浄土信仰（浄土教）が貴族から民衆へと広まる中で建立されました。建物の中心にある阿弥陀堂は、翼を広げた鳥のような形状から鳳凰堂と呼ばれ、当時の建築や彫刻技術の粋を集めた国風文化の代表例です。
問7	答え 4 比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広め、国家の平安を祈るとともに、多くの優れた僧を育成した。	平安時代初期の仏教は、奈良時代の僧侶が政治に深く関与しすぎた反省から、都から離れた山岳地帯に寺院を構える傾向がありました。最澄が比叡山に建てた延暦寺は、単なる修行の場としてだけでなく、当時の学問の最高府としての役割も果たし、日本仏教の発展に大きく寄与しました。なお、社会事業を行ったのは奈良時代の行基、戒律を伝えたのは唐の鑑真です。
問8	答え 2 外戚	藤原氏は娘を天皇の后とし、その子が天皇となった際に「母方の祖父」として政治を後見する手法をとりました。この天皇の母方の親戚を「外戚」と呼びます。道長はこの関係を強固にするため、複数の娘を次々と天皇に嫁がせ、皇室との繋がりを独占することで他氏族を圧倒しました。
問9	答え 2 蝦夷の指導者であったアテルイは、朝廷から派遣された坂上田村麻呂に降伏した。	東北地方に住んでいた蝦夷の人々は、アテルイという指導者のもとで一時は朝廷軍を撃退するほどの激しい抵抗を見せました。しかし、桓武天皇によって派遣された坂上田村麻呂が軍を進め、現在の岩手県に胆沢城を築くなどして支配を強めると、アテルイは最終的に坂上田村麻呂に降伏しました。
問10	答え 1 天皇が幼少である期間に、天皇に代わって国政全般の裁定を下し、実質的な統治権を行使した。	摂政は天皇が自ら政務を執ることができない場合に、その権限を全面的に代行する極めて重要なポストでした。藤原氏は自分の娘を天皇の后（きさき）にし、生まれた子を早くに即位させることで、外祖父（母方の祖父）として摂政の地位に就きました。これにより、天皇が幼いうちから政治の決定権を握り、一族の繁栄を確固たるものにしました。
問11	答え 3 最澄 ― 天台宗	比叡山に延暦寺を建てたのは最澄であり、その宗派は天台宗です。同時期に活躍した空海は、高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めました。最澄の弟子である円仁などは後に唐へ渡り、師の教えをさらに発展させて日本の仏教界に大きな影響を与えました。
問12	答え 1 摂関政治	藤原氏は、天皇が幼少の間に政務を代行する摂政や、成人した天皇を補佐する関白という重要な役職を独占しました。この仕組みによって、藤原北家が長期間にわたり国政の主導権を握り続けました。
問13	答え 3 中国の宋との貿易を盛んにし、その経済力を背景に政治の実権を握るため	平清盛は、それまでの貴族が土地の所有（荘園）によって富を得ていたのに対し、海外貿易による利益に注目しました。大型船が寄港できるように大輪田泊を整備し、日宋貿易を積極的に推進することで、大量の宋銭や高級品を輸入しました。この経済力を背景に、平氏は「平氏にあらざれば人にあらず」と言われるほどの権勢を誇ることとなりました。